



IoT TOP 横浜 実証実験を経て事業化 / 京セラ開発「わかりやすい字幕表示システム」が 同社グループの京セラドキュメントソリューションズジャパンより Cotopat (コトパット) ※として上市されます

IoT TOP 横浜では、IoT や AI などの先端技術を活用した生産性向上や社会課題解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出のため、実証実験支援に取り組んでいます。

その一環として、京セラ株式会社（みなとみらいリサーチセンター）が開発の**話した言葉がスクリーンに表示される「わかりやすい字幕表示システム」の実証実験**を区役所等で行ってまいりました。

このたび同社のグループ会社である京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社より、「Cotopat (コトパット)」という名称で**8月17日に販売**されます。

Copat は、お互いの表情を見ながら安心して会話することができ、発話者もスムーズに情報を伝えられるため、高齢者や聴覚障害のある方のみならず、あらゆる方のコミュニケーションを円滑にし、窓口で会話が聞き取りづらいといった**社会課題の解決に貢献**します。



※「Copat」は京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社が登録商標申請中です。

実証実験概要

令和3年から4年にかけて「わかりやすい字幕表示システム」が「新しい生活様式」における対面コミュニケーションの課題解消及び高齢者の方や聴覚障害のある方の理解の助けになることを目的とした実証実験を実施しました。

【実証実験先】

- ・ 中区役所高齢・障害支援課
- ・ 金沢区役所戸籍課、保険年金課
- ・ 緑区役所保険年金課
- ・ 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール



▲区役所での実証実験の様子

実証実験では、利用者や職員から満足度や変換精度等のフィードバックを受け、現場に沿った製品改良を重ねました。

【検証結果事例】（令和3年11月中区での実証実験結果）

- ・ 次回も窓口で利用したいとの回答が75%以上（回答98人）
- ・ 変換精度の満足度93.5%
- ・ 1回の窓口対応の時間が、平均して約9分の短縮
- ・ 「文字への変換が早くスムーズで使いやすい」という意見多数

Cotopat 概要

Cotopat は、コロナ禍におけるマスクやアクリル板を介した会話の聞き取りづらさなどの課題を解決するため、京セラが開発しました。

話した言葉をリアルタイムに認識して文字・図解・動画をスクリーンに表示することで、会話の聞き取りづらさを解消し、コミュニケーションを円滑にします。

また、7種類の言語※の翻訳表示に対応しているため、海外からの利用者に現地の言葉で情報を伝えることができます。※日本語、英語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語



▲【参考】Cotopat 使用方法①



▲【参考】Cotopat 使用方法②

【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

【I・TOP横浜ラボについて】

「I・TOP横浜」の取組の一つで、実証実験の機会やフィールドの提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案の募集等を行い、実証実験を通じて、社会課題の解決や製品化・サービス化を目指します。



お問合せ先

(I・TOP 横浜に関すること)	経済局産業連携推進課長	岩船 広	Tel 045-671-2574
(製品・実験内容に関すること)	京セラドキュメントソリューションズ株式会社 企業広報課	大 阪	Tel 06-6764-3515
京セラ株式会社	広報室	東 京	Tel 03-6364-5503

※本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。